

いちばん星

第19号
星の郷

発行日 平成23年6月1日

発行 社会福祉法人富士宮福祉会
特別養護老人ホーム星の郷

〒418-0035 富士宮市星山字向原1058

TEL0544-23-3302 FAX0544-24-9564

ホームページ

<http://www.hoshi-no-sato.co.jp>



岩本山公園で お花見会



AB ユニット 湧玉 宝永

「歴史の勉強」



十一月十七日(水)空はどんよりと、今にも泣き出しそうな天気。午後から、どうにか入所者様達と広見公園に向け出発。車中は昔話して盛り上がり、外の景色を眺めては昔を思い出し涙ぐんだり、笑顔や涙で賑やかでした。目的地に着き早速、紙すき体験。好きなもみじを選び好きな所へ置き、水ですいて世界で一枚だけのハガキを作りました。センスの良い人、なかなか個性的な人、色々です。皆様とても楽しそうに体験されました。次に富士市立博物館の館内へ入り、富士・富士宮の歴史を入所者様達と一緒に職員もお勉強。さすがに昔の事にはとても詳しく、私達職員は教えて頂く事ばかりでした。残念ながら、今月(十一月)の行事であった紅葉見学は天気と時間の都合で、出来ませんでした。紙すき体験と歴史の勉強をし、昔を思い出す事ができて、とても良かった様に思います。職員も沢山人所者様達の笑顔が見られ幸せな気分になりました。



CD ユニット 貴船 木花

四月三日、CDフロアでは家族交流会が行われました。当初の予定ではお花見へ行くつもりでしたが、地震の関係で行くことが出来なくなっていました。入所者様も悲しい表情がみられておりましたが、来られたご家族の顔を見て、喜びの表情に変わりました。あまり来られないご家族様もみられ、いつもは見られないような笑顔見られました。家族交流会では各入所者様担当スタッフとご家族様の一対一で話をする機会があり、ご家族様より、入所者様の昔の話、好きだったことなどいろいろな話を聞くことが出来ました。あるご家族様は昔を思い出し涙を流していました。お花見へは行けなかったですが、思い出に残る家族交流会になったことでしょうか。

これからも、こういった機会をつくり、入所者様とご家族様・スタッフと交流を深めていきたいです。

入所者様より漬け物をつけて食べたいとの声が挙がったため、三月二十四日におやつレクとしてきゅうりと白菜の浅漬けを作りました。入所者様に包丁を持っていただくこと「久しぶりでこわいな」と包丁を持つのをやめてしまったため、スタッフが手伝いしました。切った野菜と塩を入所者様に袋につめてもんでいただきました。もんでいると野菜から水が出てきて「これ飲む?」「もう食べたい?」など待ち遠しいというような声が聞かれました。小皿に分ける作業は女性の入所者様中心で行われ、「昔はごはん作ってね…」など思い出話に花がさいておられました。盛りつけもおわり完成し皆様で召し上がりました。「しょっぱいけどおいしいね。」「白いごはんも食べたいな。」等笑顔みられました。

養

EF 富士 浅間 ユニット



も本当にこの場所に来られて良かったと思っています。入所者様からありがとうと笑顔で言って頂ける事は何よりも喜びになります。今回のお花見で入所者様と貴重な瞬間を共有できた事は、皆様と携わっていく上でこれからも大事な出来事になってゆきましょう。入所者様の喜びに触れるたびに、私達職員一同はより皆様の楽しみとなる出来事を入所者様と一緒に作り上げていきたいと思えるのですから…



EFフロアでは、四月六日、四月十三日にお花見外出レクを行いました。恵まれた天候の中、暖かい陽差しを浴びて岩本山にてお花見を両日ともに行う事が出来ました。外気浴をなかなか行えなかったため入所者様にとっては良い気分転換になったのではないかと思います。

春の景色を彩る桜を背に、入所者様の笑顔がその情景にもう一つの花を咲かせています。風に薫る春の息吹が心地良い瞬間を運んでくれました。こんな体験は本でしか読んだ事がなかった、こんな体験は夢でしか見た事がなかったと思うってしまう程の素敵な時間がありました。入所者様からは「昔とはずいぶん変わった。こんなに綺麗な公園ではなかったんだよ…でも今は良い所だし、連れて来てくれて本当に良かったよ。ありがとう。」と言って頂きました。その言葉で職員

特

GH 朝霧 白糸 ユニット



よう、職員全員で手助けできれば幸いです。と思っています。

今年度も入所者様といろんな場所へと出掛けて、素敵な笑顔を書き写し、一日一日を幸せで穏やかに過ごせますように、職員全員で手助けできれば幸いです。と思っています。



「花見」

だんだんと春の陽気が近づいてきました。四月十日(日)、GHフロアでは「お花見・お茶会」をおこないました。

この日の天候は、曇り空で少し肌寒い陽気ではありましたが、桜が満開に咲いていました。入所者様は、外に出て桜を見つけると「きれいだね」と笑顔になり職員に話しかけてくださいました。

お茶会ということで、コップ片手に桜観賞隣りにいる人と談笑されたり、歌を唄われていたり楽しいひとときを過ごされておりました。最後に桜をバックに、入所者様全員で記念撮影をおこないました。

デイサービス

星の郷



十二月

「メリークリスマス！」の明るいかけ声と共に、今年もデイサービスのクリスマス会はスタートしました。このクリスマス会の為に、ご利用者様とクリスマスツリーを折り紙で作ったり、ツリーの飾りつけをしたり、トイレットペーパーの芯でサンタクロースを作ったりしました。手作り



の作品でフロアはクリスマスモード一色になりました。

クリスマス会のオープ

ニングは、利用者様にサンタクロースの衣装に着替えていただき、白いヒゲを付けて登場していただきました。ノリノリのサンタさん登場に、笑い転げて涙目になっておられる利用者様がちらほら…。サンタさん登場で盛り上がった後は、クリスマスソングを歌ったり、ハンドベル演奏を、利用者様とスタッフ合同で行ったりしました。ある日は、合唱部を利用者様と立ち上げ、練習を重ねてきました。当日は、とても素敵なハモニーで大成でした。

又、今年のクリスマスは、クリスマス週間と称して、おやつレクリエーションも合わせて行いました。ロールケーキに生クリームやフルーツでデコレーションしたり、ある日は、朝からクッキー生地を作って、午後からはクッキーの型抜きをしてオーブンで焼きました。クッキーの焼ける甘い香りに、「美味しそうだね」とフクフクしながら体操を待っていたりしました。皆さんが全員参加されて、共に作り上げた、とっても温かなクリスマスの一時を過ごせ

ました事を、幸せに感じます。皆さんご協力ありがとうございました。

一月

明けましておめでとございませう。本年もよろしく願います。デイサービスでは福笑いやすごろく、カルタをやったり、おやつしクではどら焼、水ようかん、わらび餅、白玉入りしるこを作りました。中でもわらび餅では粉を練る時の水かげんに苦労しましたが利用者の経験が生き、いろいろアドバイスをいただき上手にすることができました。又白玉粉を丸める時は食べやすい大きさになるよう注意を払いながら、皆さんに丸めていただきました。今年もいろんなおやつに挑戦できれ



ばと思います。今年一年が皆様にとって素晴らしい一年でありますようにスタッフ共々心から願っております。

一月

寒さも一段と厳しくなり、デイサービスでは心も体も温まって頂こうと、二月第一週目に五日間、おやつしクを行いました。中でもお好み焼きは、キャベツを刻む所からゲスト



の方にやって頂きました。スタッフが手伝つと「そんなやり方して！」と注意を受ける場面もありました。やはり大先輩にはかかせませんね。デイサービスでは風邪を引かれる利用者様の方もほとんどいらっしやらず、二月を乗り切ることが出来ました。

二月

今年の冬は寒さ厳しく、三月になってもまだ風の冷たい日が続いていますが、デイサービスのフロアはおひな様を飾ったり、壁面には吊るしびなや桃の花などを飾り春の装いとなっています。三月三日よりひな祭

いちばん星

節分



りにちなみ、おやつレクリエーションを行い、甘酒、小麦まんじゅう、桜もち、焼そば、み

つだんごを口替りに作り女の子のお祭りをお祝いしました。これらのおやつは利用者様も「昔よく作ったものだよ。」と用意したレシピが必要ないほど詳しく作り方を教えて下さいました。またいつもは「見ているからいいよ。」と言われる男性利用者様も一緒に参加されまわりの方達におまんじゅうの丸め方を教わったりと、利用者様の楽しそうな話し声、笑い声がおやつのいい香りと共にフロアにフロアいっぱいになり、足早い春を感じた一時でした。



二月三日の節分に際し、デイサービスいちばん星では節分豆まき会を開催しました。この日に合わせて利用者様が、ちぎり絵で作成した鬼の面をかぶり、鬼たいじの為にボールを使って鬼ヶ島へ向かうゲームを行いました。ここぞとばかりにボールを投げる人、うまく島に上陸できるよつそつと投げる人、「上陸！」と元気良く声を出す人等、たいへん盛り上がり楽しいひとときを過ごしました。また、利用者様の節分の思い出を語って頂き、昔を思い出しながら皆様しみじみと話を聞かせてくれました。



ひな祭り

三月は桃の節句です。利用者様がおひな様とお内裏様を紙粘土で作



ました。紙粘土の土台にトレットペーパーの芯を使い、各自「おひなさんて、どんな形

だったけ?」「大きさは?」と製作中もお互いの物を見比べ、手をまっ白にしながら紙粘土をこねて少しずつ仕上げていきました。形が出来た後は顔と衣装です。顔の描き入れは皆様だいたい苦戦され「変な顔になっちゃった」「なんだか怖い顔だよ」等、こちらも話題の中心になっていました。中にはおひな様に向かって「うまく描けなくてごめんね、来年はもっと上手に描くからね」と優しい声をかけている利用者様もいました。ひな祭り週間の日はおひな様とお内裏様の衣裳を身につけて写真撮影を行いました。女性の利用者様には十二単衣風に襟元の布を何枚も重ね合わせ縫いつけて頂き、男性利用者様には烏帽子を作って頂きました。それぞれの衣裳を身につけて、いよいよ写真撮影です。皆様それぞれポー

足湯

ズをとおり、良い笑顔で記念写真を撮りました。写真とおひな人形を御自宅へ持ち帰り、四月の富士宮のひな祭りまで飾って頂いています。

前回紹介しました、いちばん星名物の足湯です。今年の冬は例年になく寒い日が続きました。いちばん星の足湯はそんな寒い日にはうつつだけで、午前中入浴されても午後になり足が冷えてしまったり、風邪が治ったけどお風呂はまだ...という方等、足を温めると全身の血流が良くなり、自宅へ帰ってから温かいと喜ばれております。時にはこの場で、お茶を飲み語らい、憩いの場になっています。季節の変わり目は天候もまだ安定しない日が続いていますが、こういう時こそ、足湯で癒しの時間を楽しんで頂ければと思います。



お料理クラブ

たこ焼き
H22.11.29



おやき
H22.12.13



いもきんつば
H22.10.25



お好み焼き
H23.4.20



**リンゴの
ヨーグルトケーキ**
H23.2.21



編集後記

皆さん3月に起きた地震は大変でした。家の外ではブロック塀や瓦が壊れブルーシートのかかった家が多く見られ、家の中では、血が食器棚から落ちたり、壁にひびが入った等被害が多く聞かれました。物だけでなく、精神的にも不安な日々が続き、体調を崩された方もいたと思います。幸い星の郷では、建物での大きな被害もなく、入所された方にも被害なく終わりの一安心しておりますが、まだまだ、地震の影響で電力等の問題が続いております。星の郷でも出来ることで協力をしていきたいと思っておりますので、ご協力宜しくお願いいたします。

編集スタッフ

安部川陽子 磯野 仁美 橋本 歩
山本真由美 望月 恵子 織田 明宏
伴野 敦紀

福祉作品展

2月23日～3月1日まで、富士宮市総合福祉会館 1階ふれあいロビーにて展示されていまして、見に行ってきました。

